

平成20年度事業計画

財団法人豊田市国際交流協会（TOYOTA INTERNATIONAL ASSOCIATION：TIA）は、1988年10月の設立以来「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生の活動を三本の柱とし、地域の国際化を推進してきました。

平成19年度は、市を始め多くの関係者のご支援を得て、TIAの念願であった来訪・在住外国人と日本人住民がともに語り、学び、交流を深めるための拠点となる「とよたグローバルスクエア」を豊田産業文化センター3階にて開設できた歴史的な年となりました。グローバルスクエアを活用した毎週日曜日午後のナショナルデーイベントや小学生国際理解教育授業の試行など新たな取り組みも始めることができました。

平成20年度はグローバルスクエアを活用した事業の拡充と外国人防災体制のさらなる強化や外国人のための日本語教育普及支援および国際交流市民事業への助成などの既存事業の展開を進めるとともに、日本人のブラジル移住100周年を記念する事業とTIA設立20周年記念事業を新規事業の柱として取組んでまいります。

常にボランティアと手を携え関係諸団体や企業と連携を図り共働を進めることで、地域の国際化のさらなる進展に寄与してまいります。

1 交流事業

(1) 国際親善受入事業

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深める。

ア アメリカ・ウエイン州立大学（デトロイト）

時 期 平成20年 6月27日（金）～7月3日（木）

イ 桜花学園大学留学生（韓国籍）

時 期 平成20年11月

ウ その他、随時検討の上、受け入れる。

(2) おいでんまつり参加

「豊田おいでんまつり」に踊り連「トヨタリアン」を結成して参加する。まつりの体験と相互交流を深めるとともに、おいでんまつりの国際化に寄与する。

時 期 平成20年 7月

参加者 外国人・日本人60名

(3) International Educators to Japan（IEJ）プログラム

海外進出日系企業の駐在員子弟を受け入れている現地公立学校の教師を日本に招待する。デトロイトなどからの教師を豊田市で受け入れ、ホームステイ、市内の学校訪問を実施する。

時 期 平成20年 6月26日（木）～ 6月28日（土）

受入人数 10名

(4) World Campus International（WCI）受入事業

前身である Up With People の精神を引き継ぎ、参加者はホームステイ、地域活動などを通じて国際感覚、ボランティア精神、リーダーシップ能力を養う。参加者

と市民との国際交流を図る。

時 期 平成20年 7月

(5) 日本ブラジル交流年記念事業 in とよた実行委員会の開催

日本人のブラジル移住100周年にあたり、日本人とブラジル人が協力して相互の理解と友情を深め、多文化共生の社会づくりに貢献することを目的に、豊田市において記念事業を開催する。委員会は事業目的に賛同する機関・団体等の代表者または有識者をもって構成され、記念事業についての検討、事業推進を図る。

時 期 平成20年 4月及び 7月

会 場 豊田市役所

(6) 日本ブラジル交流年記念イベント（新規）

日本ブラジル交流年にあたり、100年前に日本人がブラジルへ渡り、80年後に2世、3世が再び日本へ戻ってきた背景と、様々な事情を学び、ブラジル文化と伝統を紹介する記念事業を日本人とブラジル人が協力して開催することにより、相互理解と友好を深め、豊田市が目指す多文化共生社会に貢献することを目的とし、記念イベント「ビバ！ブラジルデー！」を開催する。

時 期 平成20年6月14日（土）

会 場 豊田スタジアム

内 容 ハルとナツ映画会、由紀さおりによるトークショーと歌、日本・ブラジルの文化紹介・交流に関するパネル展示・ワークショップ・ステージ、サッカー教室、飲食・物産展、など

(7) T I A 20周年記念事業（新規）

T I A 設立20周年にあたる今年、それを記念したイベントを実施する。

時 期 平成20年10月～12月

内 容 国際的に活躍する著名人による講演会、記念式典など

(8) T I A ナショナルデー

財団法人あすてと連携しつつ、とよたグローバルスクエアにて世界各国の文化や生活を紹介、披露する機会を毎週設ける。在住外国人や市民にボランティア活動の場を提供し、フレンドシップ事業の理念である市民主体の国際交流の継承と発展に寄与する。

(9) 第19回世界少年野球大会（新規）

世界の子どもたちが、野球を学び、地域の子どもたちとの交流を行うことを目的に開催される世界少年野球大会の開催を豊田市と共催することにより、未来を担う人づくりを促進する。

時 期 平成20年 8月 2日（土）

(10) その他各種共催事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種交流事業を類似の団体と共に開催し、交流事業の多様化を図る。随時、内容検討の上実施する。

2 相談・斡旋事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業

通訳や国際交流・支援など多文化共生を実践していく人材をボランティアとして登録し、ニーズに応じた活動を展開する。また、登録者及び一般市民のボランティア活動に対する意識向上を図る事業を開催する。

ア ボランティアの登録・育成・紹介の実施

個人、又はグループボランティアとして年度毎に登録・更新。新たに登録を希望する方には個々のボランティア活動を紹介し、人材の育成を図る。

- | | |
|-------------|--|
| ・個人ボランティア | 通訳・翻訳
交流企画・推進ボランティア
業務サポート（図書整理など）
ホームステイ・ホームビジット |
| ・グループボランティア | |
| 国際交流 | オープンハート
日本文化紹介 |
| 国際協力 | ほづみ会 |
| 在住外国人と交流・支援 | E-IFF
ひらがなういずゆー
日本語サロン
AlpHa日本語教室
海外生活体験者グループ |
| 学習・情報提供 | |

イ ボランティア代表者会議の開催

ボランティア活動の活性化と各グループ共通の課題共有と解決に向けて開催。同時に次期人材の育成のため中堅層の参加を求め、TIAの諸事業への参加・参画をグループのメンバーに促すと共に、新規で登録する人々が定着するような活動環境の整備に努める。

参加者 各グループ代表者及び中堅層

ウ 日本語支援ボランティア養成講座

市内在住・在勤の外国人対象日本語支援ボランティア養成講座を開催。市内外国人の現状や日本語学習の進め方を実践的に学ぶことで、実際に教室で活動できる人材を養成し、地域・企業での日本語支援を勧めていく。

時期 平成20年5月～

参加者 日本語支援活動に興味があり、講座終了後はボランティア活動のできる方

(2) 外国人多言語相談事業

市を始め各種団体と連携しながら、在住外国人が抱える様々な分野の相談に乗り、多文化共生のまちづくりのための基盤づくりを推進する。20年度もポルトガル語（土・日）、中国語（火午後・土午前）の体制を継続する。

(3) 通訳派遣事業

外国人が市民生活を送る上で、人道・人権に関わる問題、福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続きなどに通訳補助が必要な場合に、通訳者を派遣する。20年度

は増加する企業やホテルなどの依頼に対し、外国人の人権や急病など緊急のケースに限り有料で派遣するといった新たな派遣のシステムの導入に着手する。

また昨年度立ち上げた通訳人材バンクについては、登録ボランティアのさらなる確保と対応言語の充実に努めていく。

(4) 翻訳事業

市役所などの公的機関に提出する文書など公的書類に限り、翻訳者を確保する。20年度から一部市の委託事業が開始するため、昨年度から増加している市からの中国語翻訳依頼については担当課と連携を取りながら対応にあたっていく。

(5) 市内及び近隣地域の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業

小中学校の総合学習や交流館等で取組みが行われている国際理解教育プログラムについて関連資料の紹介や講師派遣の支援を行い、国際理解教育を推進する。また、依頼に応じ市職員や一般市民対象の国際理解教育講座を企画・開催する。

3 研修・啓発事業

(1) 日本語講座

市内在住外国人が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るための一助として、専門講師による日本語講座を実施する。

期 間	前期：平成20年 4月～	9月	毎週土曜日全20回
	後期：平成20年10月～翌年	3月	毎週土曜日全20回
時 間	9時30分～12時		
ク ラ ス	入門～初級レベルの4クラス	各クラス15名程度	

(2) 国際理解教育セミナー

人権・平和・多文化・環境といった地球規模のさまざまな問題への理解を深め、その解決に向けて実践的な行動を起こすことができる市民を育成することを狙いとした啓発事業を、参加・体験型のセミナー形式で行う。

開催頻度 年3回程度

(3) 外国語講座

ア ハングル講座

文化・スポーツを通じ依然として注目度の高い隣国・韓国。本講座では入門レベルのハングルを学ぶ目的で市民対象に開催する。移転に伴う開館時間の延長に伴い、従来の昼間講座の他に夜間の講座を実施する。

期 間	前期：平成20年 9月～10月
	後期：平成21年 1月～ 3月

イ 中国語講座

活発な経済成長や北京オリンピックなどで注目を浴び、また市内外国人登録人数が第2位である中国への文化理解を図るとともに、日本人と中国人の友好親善のきっかけづくりの場とする。20年度は昼間と夜間の講座を各1回ずつ行う。

期 間	平成20年 4月～	2講座
-----	-----------	-----

ウ スペイン語講座

ラテンアメリカ出身者が多い豊田市の現状を踏まえ、入門レベルのスペイン語と文化の講座を開催することで市民のラテンアメリカ諸国に対する理解を進める。

開 催 平成20年 9月以降

エ 夜間外国語講座

仕事帰りの社会人や学生を対象に、夜間に受講できる前記以外の外国語講座を実施する。実施言語は市内のニーズや講師の確保に応じて選択し、いずれも3か月ターム全10回程度で開催予定。

期 間 平成20年 4月～ 上海語ほか2講座

オ T I A多言語・多文化講座（新規）

外国語学習における新たなニーズを発掘するために市内及び近隣在住の講師に依頼し、新規講座を試行的に開催する。

期 間 平成20年 6月～

(4) 外国人防災体制の確立

ア 豊田市外国人災害サポートボランティア養成講座

災害時における通訳・翻訳ボランティアの確保を図り、多言語の登録者数のさらなる増加につなげる。また登録ボランティアとの連携を視野に入れながら、外国人防災体制の整備に寄与できるような取組みも同時に進めていく。

時 期 平成20年10月～

参 加 者 日本語／外国語でコミュニケーションができる市民

イ FMとよたとの共働事業（新規）

大きな災害が発生した時、ラジオは有効な情報発信のツールとなる。有事に備え、地域のFMラジオ局と多言語番組の作成と放送に向けた準備に着手し、外国人被災者に対する情報提供の整備を進める。

時 期 平成20年10月～

内 容 外国人市民への防災啓発番組の作成・放送

協 力 者 豊田市外国人災害サポートボランティア、通訳・翻訳人材バンクの登録ボランティア

(5) 日本ブラジル交流年記念青少年育成プログラム（新規）

日本ブラジル交流年にあたり、若者にブラジルならびに国際社会への理解を促し、日本とブラジル両国、そして広く人類社会に貢献できる人間の育成を目的とし、若者ブラジル探索の旅をはじめとした事業を実施する。

ア 若者ブラジル探索の旅

期 間 平成20年9月 約14日間

人 数 10名

内 容 歴史的な名所や施設などブラジル各地を巡り、またホームステイなど現地での交流を通じ、ブラジルや日本人移民の歴史、ブラジルの子どもの教育、デカセギについての理解を高め、幅広い視野と豊富な経験を持つ青年を育成する。

(6) 小学生国際理解教育学校招待プログラム（新規）

とよたグローバルスクエアの施設を活かし、市内の小学生を招いて国際理解教育を実施する。授業は国際理解教育に詳しい大学生を中心とした市民グループに運営してもらう。各小学校からの申込みを受け、グループとのスケジュール調整し実施する。

20年度実施校	朝日小学校ほか12校を予定
人数	1回につき100名以内
対象	小学校4年生～6年生

(7) 地域国際化プログラム（新規）

職員の先駆性・専門性を活かし、調査・視察から学んだ知識や経験を反映させた事業及び企画を立上げ、地域の国際化に寄与する。内容は、ボランティア活動活性化をテーマにしたものや地域在住外国人との共働によるセミナーなどを行う予定である。

(8) その他各種共催事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種芸術・文化紹介事業を類似の団体とともに開催し、研修啓発事業の多様化を図る。随時、内容検討のうえ実施。

4 情報収集・提供事業

(1) T I A機関誌発行事業

国際交流に関する情報とT I Aの事業案内等を機関誌として発行する。国際交流の推進とT I Aに対する協力支援を得るため、県・市町村国際交流担当部署、各種国際交流団体、T I A関係者及びボランティア等に配布する。

発行回数	年4回（4月、7月、10月、1月）
規格	A4サイズ 4頁
発行部数	3,000部／1回

(2) 国際理解教育ニュースレター発行事業

国際理解教育の手法や教材の紹介、セミナー等で実施したプログラム等を中心に、この分野に関心のある人々に充実した情報を提供する。

発行回数	年3～4回（随時）
規格	A4サイズ 2頁
発行部数	2,500部／1回

(3) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」

豊田市の広報誌に英語・ポルトガル語による各種生活情報を掲載する。

発行回数	24回（毎号掲載）
規格	A4サイズ 1頁
発行部数	約152,000部／1回

(4) 各種出版事業

本協会主催の各種事業の内容を要約・編集し、報告書として提供する。今年も19年度に引き続き、協会ホームページを通じて情報提供を行なう。

(5) T I Aホームページの運営

今日では情報源として非常に重要なホームページであるが、情報更新速度を上げて講座やイベント、ボランティア活動に参加しやすい環境を作る。同時に外国語ページも日本語教室の情報などを早く提供できる体制を整える。

(6) 多文化カレンダーの作成

年々増加の一途をたどる外国籍市民との共生を促進するため「多文化カレンダー」を作成、異文化の理解を図っていく。

5 国際交流団体育成事業

各種国際交流関係機関、団体等が実施する地域の国際交流事業に対し、その後援を始めとして、積極的な支援参加を行う。市民主体の国際交流・国際協力のボランティア活動を活性化させるための方策を検討し、支援をする。

(1) 草の根の国際交流の推進

内 容 とよた国際交流市民会議の開催

期 間 平成20年 4月～平成21年 3月の間で随時

(2) 助成金事業

地域の国際化に貢献する国際交流・国際協力を目的とした新規事業への支援を行う。今年度の募集は日本ブラジル交流年を記念した市民による記念イベントへの助成を積極的に行う。また、募集案内を2言語（ポルトガル語、日本語）で行い、外国人グループの活動の発掘、活性化も図る。

内 容 国際交流・国際協力事業募集・審査・助成金交付を行う。

期 間 1次募集 平成20年 1月15日～ 2月15日

(対象：平成20年 4月 1日～平成21年 3月31日に実施・完了する事業)

2次募集 平成20年 6月15日～ 7月15日

(対象：平成20年10月 1日～平成21年 3月31日に実施・完了する事業)

6 調査・企画事業

(1) 多文化共生のまちづくり推進事業の取組み

地域の在住外国人が国籍や言葉の違いに関係なく、人間としての基本的な生活を送る上で支障をきたさないよう、さらには在住外国人がもたらす豊かな個性を活かしながら、多様な価値観の共存する多文化共生のまちづくり実現に向け、仕組みづくりや法制度見直しなどの検討、関係部署と連携に取り組む。

また、外国人集住都市会議・豊田市多文化共生推進協議会などを通じ、多文化共生を内包した国際化の推進に努める。さらに、市内においては、教育委員会や学校等との連携のもと、外国人児童生徒が国籍や言葉の違いなどで学習に困難を来し、学業を途中で断念しないようボランティアと協力して支援の方策を探る。

さらに、今年度より開始される『とよた日本語学習システム』（豊田市より名古屋大学受託事業）のシステムコーディネーターを配置し、T I A事務局の一角を活動場所として提供することにより、豊田市と協力しながら、今後、外国籍市民に対する日本語学習の支援を行っていく。

(2) その他の調査・企画事業の取組み

地域の国際化に即した本協会の業務内容及び果たすべき役割、組織体制等を確立

するため、国際化に携わる関係者との意見交換や所要の調査等を実施する。

7 とよたグローバルスクエア運営事業

地域の国際交流活動の拠点として、国際交流や海外諸国に関する情報の提供及び外国人への生活やイベント、観光地等に関する情報の提供、各種相談への対応のほか、日本人と外国人との交流を深める場、ボランティア活動の場の提供としてとよたグローバルスクエアを運営する。

(1) ライブラリー、新聞・雑誌コーナーの運営

市民が諸外国への理解や協力、地域の国際化への認識を深めるために、また、外国人が日本の歴史、文化、社会の理解を深めるために必要とする図書・雑誌・新聞・資料・ビデオ等を収集・提供する。

(2) インターネットPC、無線LANの設置

19年度導入されたインターネットPCと無線LANを活用し、とよたグローバルスクエアを訪れる多くの市内在住外国人や市民への情報提供サービスの向上を図る。

(3) 掲示板など情報コーナーの充実

掲示板など情報コーナーを充実させ、日本人と外国人との交流を深めるきっかけとする。また、多言語の情報・国際理解のイベント等の案内を収集・提供する。

8 その他 ボランティアグループなど活動計画

本年度、以下の活動を計画しており各グループは自立的に活動を推進するが、TIAは活動環境の整備と必要な個別の支援を実施する。

(1) 国際交流

ア オープンハート

各種ホームステイにおけるコーディネートを行う。

ウエイン州立大学 6月27日(金)～7月3日(木)(予定)

桜花学園大学留学生(韓国籍) 11月(予定)など

イ 日本文化紹介

豊田市訪問、在住在勤の外国人への日本文化紹介

(茶道・書道・華道・着付け・折り紙等)

(2) 国際協力

ア ほづみ会

タイ山岳民族の子どもの教育支援を目的としたバザーやタイ理解講座の実施。

恒例のタイスタディツアーを実施予定。

(3) 在住外国人と交流・支援

ア E-IFF

英語サロンの開催、英語によるガイドツアーの企画・実施

その他随時通訳・翻訳活動の展開

イ ひらがなういずゆー

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活や地域情報を2言語(ポルトガル語・英語)表記も含め、提供する。年3回発

行。発行部数は各回1, 100部。小・中学校の国際教室、地域の交流館や日本語教室などを中心に配布

ウ 日本語サロン

毎週水曜日の日本語教室開催、学習者のための託児、子育て支援。

開講時期：前期4月～9月 後期10月～3月

エ Alpha日本語教室

毎週日曜日の日本語教室開催と、外国人との交流・仲間づくりを目的とした各種交流事業（もちつき、郊外学習）の実施。

開講時期：5月～8月、9月～12月、1月～4月の計3期

(4) 学習・情報提供

ア 海外生活体験者グループ

海外生活サロン（海外の日本人学校の情報を共有する会） 年1回

(5) T I A自主サークル

ハンガール・スペイン語・ポルトガル語の各自主サークルが継続して、とよたグローバルスクエアで活動する予定。自主サークルについては、『とよたグローバルスクエア内部規定』により、その定義や目的などを予め定めてあるものに則して活動する。